

2024年度 在学生調査実施報告



慶應義塾大学

教学マネジメント推進センター

在学生調査について

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

教学マネジメント推進センターでは、2022年度より、学部 に在学する学生を対象とした調査を実施しており、2024年度より、質問項目の一部見直しを行いました。入学から卒業までの学生調査を実施することによって、学修行動(学習時間、意欲、満足度など)や学修成果の達成度を把握し、大学および各学部における教育プログラムの見直し・改善に活用することを企図しています。

在学生調査の主な目的

- ・在学時における各学年での学修成果の到達度および満足度を測定し、学生生活における不安や悩み、大学に対する意見を収集します。
- ・卒業時調査と組み合わせた分析、比較を行うことによって、学生の学びの成果を可視化します。

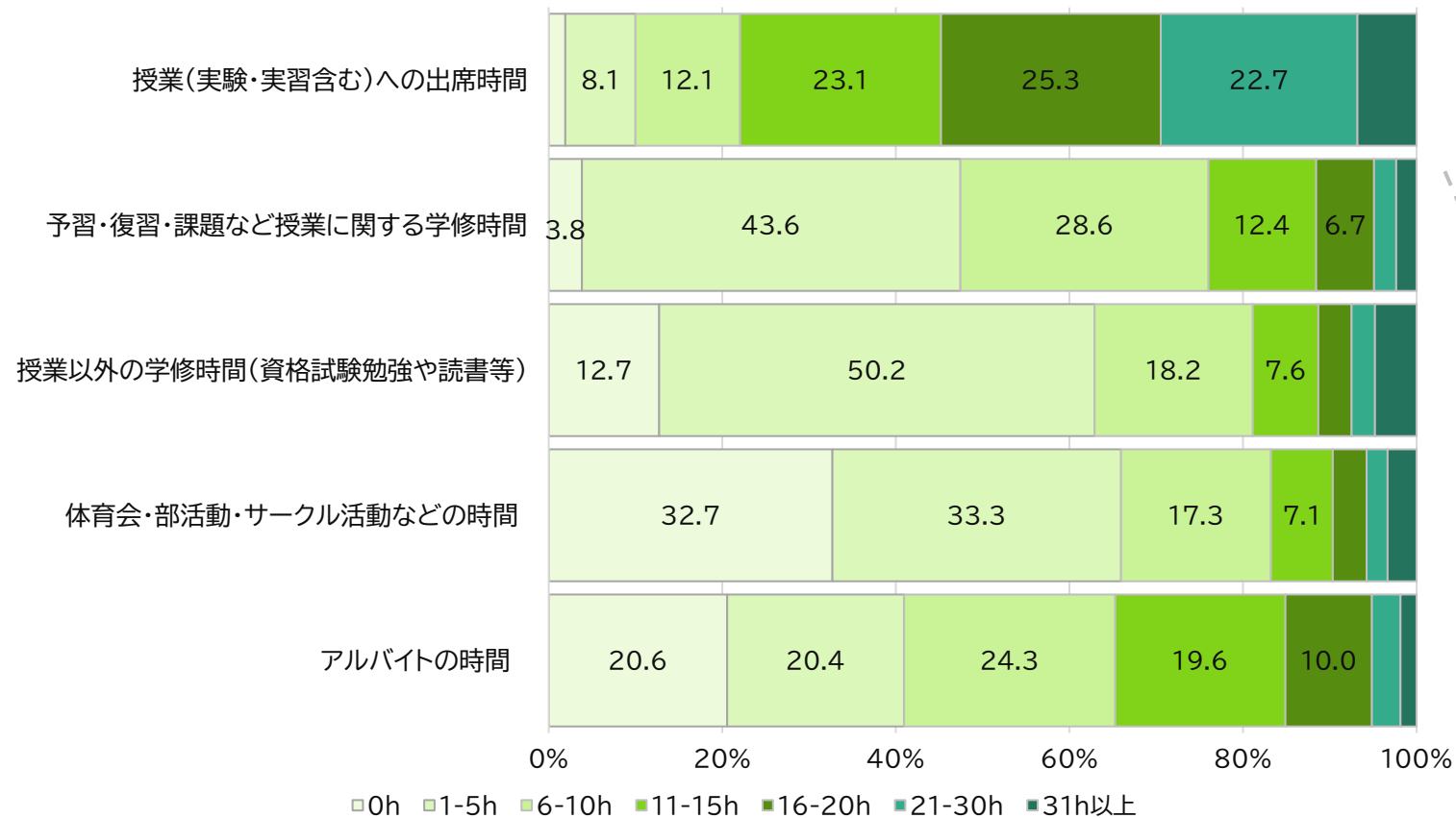
調査概要

KEIO UNIVERSITY STUDENT SURVEY

<u>対象者</u>	2024年度に在籍している学部生(卒業した学部生を除く)
<u>実施期間</u>	(9月入学)2024年9月5日～2024年9月27日 (4月入学)2025年3月10日～2025年3月30日
<u>実施方法</u>	在学生向けポータルサイト(K-Support)によるアンケート機能を利用
<u>回答数</u>	1668件/22474件 (回答率:約7.4%)
<u>調査主体</u>	教学マネジメント推進センター／教学マネジメント推進室

1 学修時間【設問変更】

Q 授業期間中の平均的な1週間(7日間)の生活時間についてあてはまるものを選択してください ※今回より項目を変更

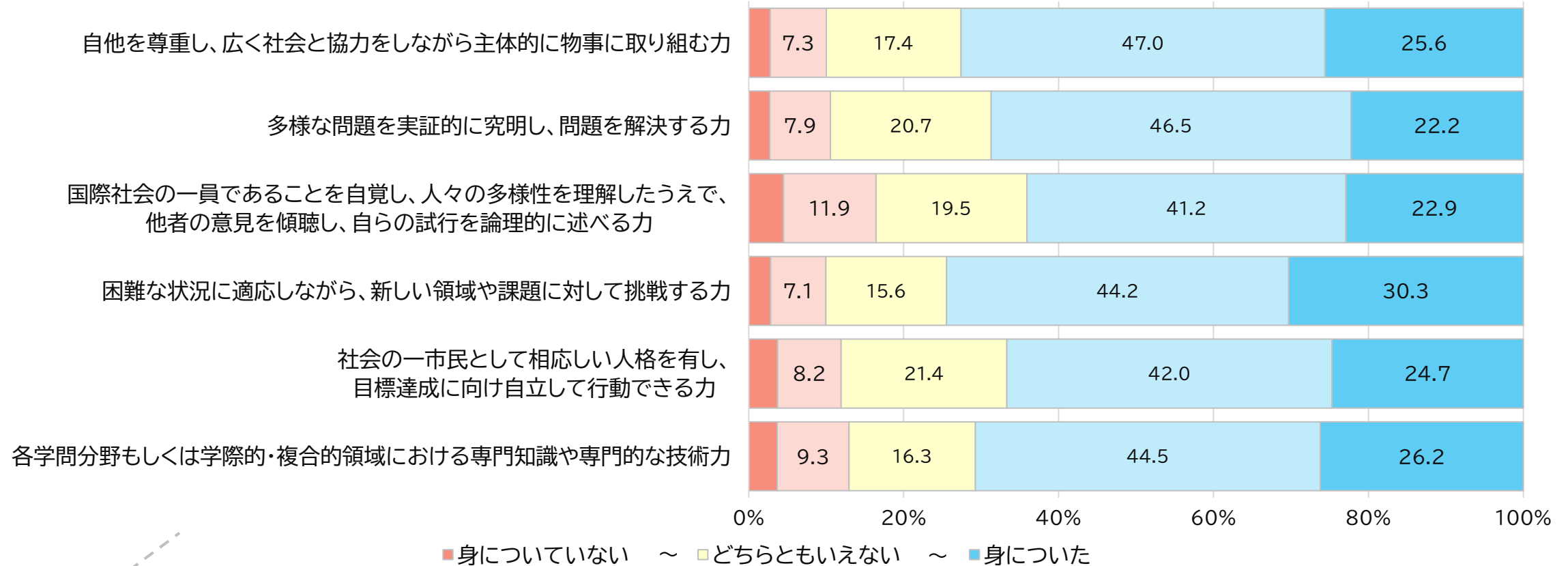


- ・在学生の8割程度は一週間あたり11時間以上授業に出席している
- ・約半数が一週間のうち11時間以上授業に関する学修にあてている
- ・授業以外の学修時間は5時間以内が多い

2 学修成果【設問変更】

Q 大学生活において、以下の能力やスキルについて、大学入学時から比べてどの程度向上した、あるいは身についたと考えますか

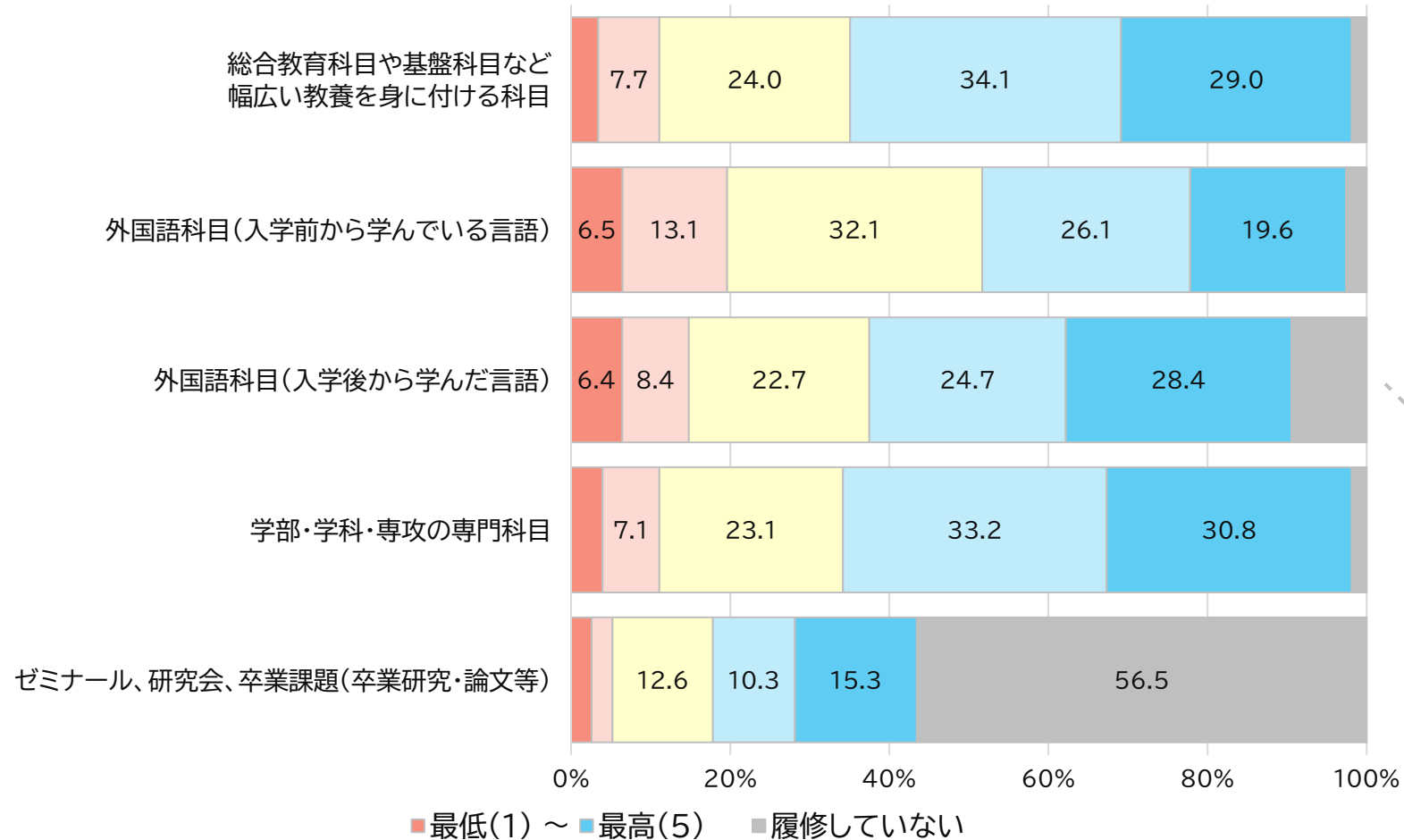
※今回より項目を変更



・大学の定める資質・能力目標について、6割以上の卒業生が「身についた」と考えている

3 満足度(授業)

Q これまでの授業の満足度について、それぞれ5点満点で点数づけをしてください

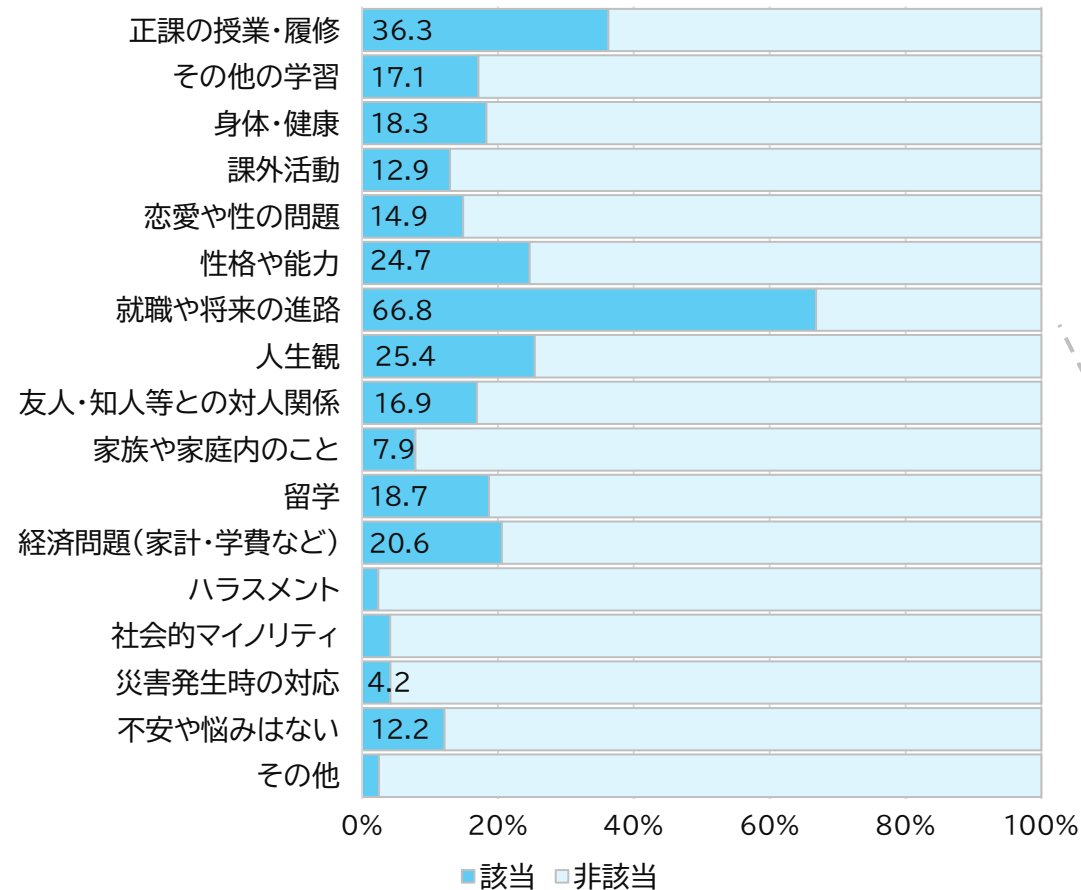


・在学生の6割以上が
幅広い教養を身に付ける科目に
満足している

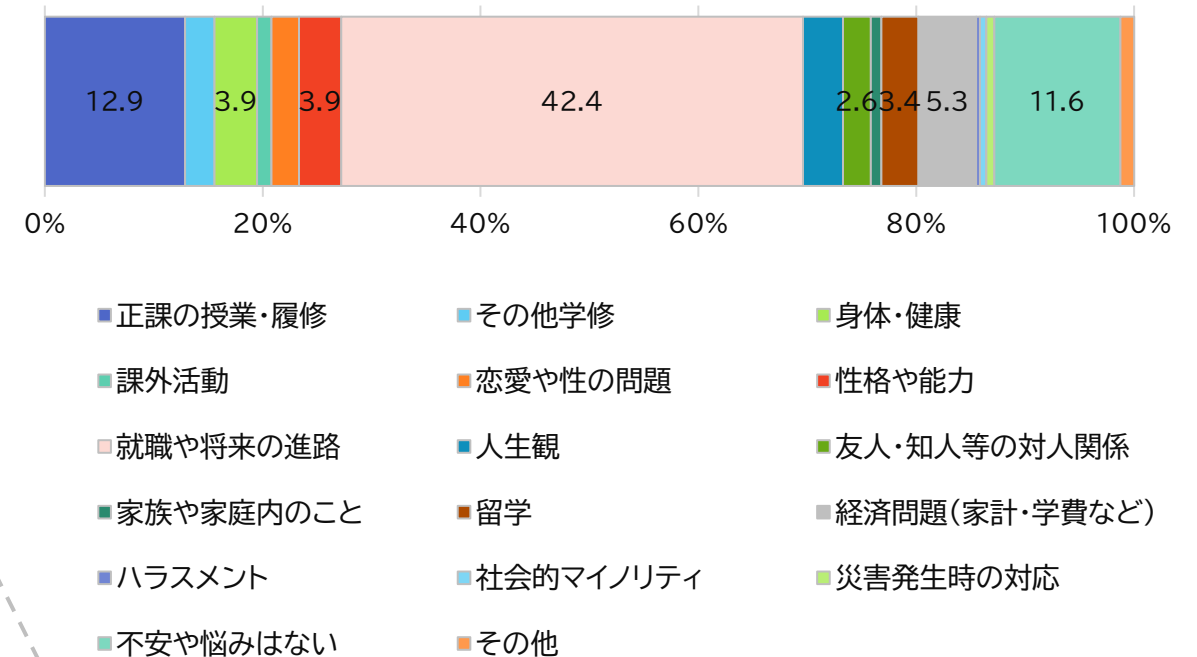
・所属先の学部、学科、専門科目にも
おおむね満足している

4 大学生活における不安や悩み【新規設問】

Q 大学生活の中で、不安や悩みはありますか？
あてはまるものをすべて選択してください【新規】



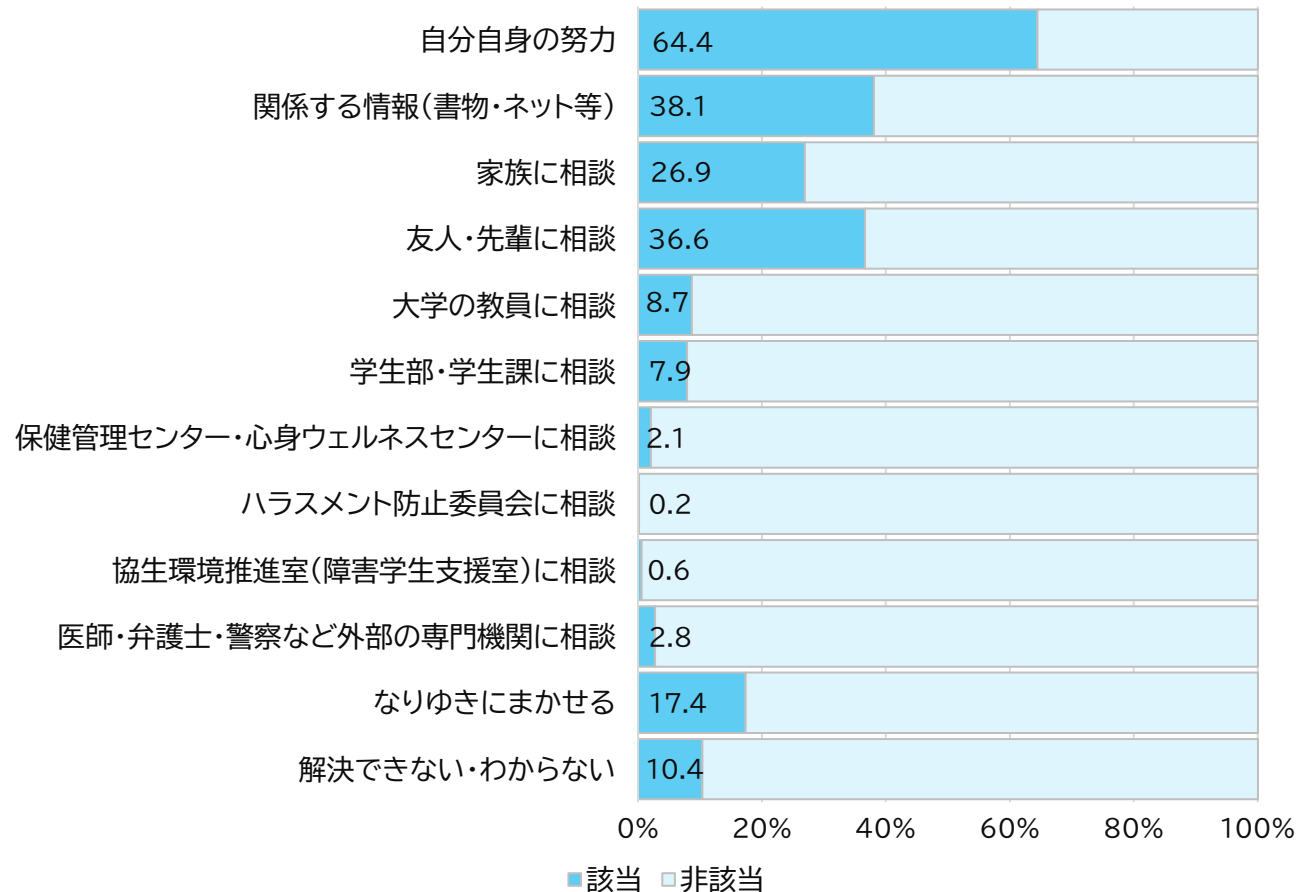
Q 最も大きな不安や悩みを1つ選択してください【新規】



- ・7割近くの在学生会就職や将来の進路に不安や悩みに感じている
- ・3割程度の在学生会正課の授業・履修にも不安や悩みを感じている

5 不安や悩みの解決方法【新規設問】

Q 最も大きな不安や悩みについて、どのような方法で解決した、または解決しようとしていますか【新規】



・多くの在学生在が、不安や悩みは「自分の努力」で解決しようとしている